



## 大和高取城・山行記

山行日・3月25日（金） 参加者・5人 天候・快晴

JR 高槻駅 7時43分発の快速に乗車。大阪阿部野橋駅でトイレタイムがとれるように予定を組んだが、10分程度の乗り継ぎとなった。大阪阿部野橋発 8時50分発～壺阪山駅 9時40分着。

9時45分発のバスに乗車～壺阪寺着 9時56分着。衣類調整・体操を行い、10時7分にスタート。私たち以外は、壺阪寺の参拝者だった。私は参拝しなかったが、上から見下ろさせていただいた。やたらと大きな観音様にびっくり！！

高取町の南東部に聳える『高取山』は、標高 583.6m、日本三大山城の1つに数えられている。幕末期の記録では、概ね黒門をくぐった内部を「郭内」と呼び、二の門から三の丸・二の丸・本丸を含む部分を「城内」と区別されていた。「郭内」の周囲はおよそ七里余（約 28Km）にも及び、その面積は約 6000 万㎡。壮大な石垣に圧倒されてしまった。未整備である場所も多いが、「城内」は整備されており、バイオトイレが2台設置されていた。建物が残っていないのは残念であるが、一度は訪れることをお勧めしたい。下山コースは、ひたすら階段を下るのみである。

明治4年の廃藩置県の結果、高取城も大部分が取り壊され、売却されたが一部保存されている。二の門が小嶋寺に移築されたり、松の門などが児童公園に移築されていたので拝見した。

高取町の町歩きでは、桜が咲いていたり、野の花に春を感じることができた。久しぶりにキセキレイに出会い、心晴れ晴れと楽しく歩くことができた。ひな巡り後、喫茶店で休憩し、壺阪山駅 16時22分発に乗車し、帰路に着いた。参加の皆さん、お疲れさまでした！！

写真・TM 記録・KUSUMI

